

## 特 徴

入射する全天日射は石英ドームを透過し、ドーム内に設けられたテフロン拡散板により拡散された後、UV フィルターにより分光され、紫外放射のみが受光器に入射されます。受光器より出力された 315~400nm の紫外放射出力は本体内蔵のアンプにより増幅の後、出力されま  
す。受感部には GaAs ダイオードが使われています。

## 特 徴

地上に到達する全天 UV-B 放射量は、最高でも全天日射量のわずか 0.2%程度で、しかも入射の角度分布と分光分布は大気条件により大きく変わります。また、周囲温度も幅として 50℃以上変わります。従って UV-B 放射量を正確に計測するためには、0.315 $\mu$ 以上の放射量(99.8%)を取り除きながら、放射計の角度特性も満たせねばなりません。このために CEK-MS212W には特殊光学系を導入しました。

## 特 徴

野外における連続観測用途に開発された分光放射計です。長期間にわたる信頼性の高い計測を行うことができます。

- ・ 屋外での連続測定が可能です。
- ・ コンパクトサイズ 寸法:240 $\phi$ ×175mm 重さ:4.0kg
- ・ 可動部分がありません。
- ・ 分光計ユニットの温度制御機能
- ・ 極めて少ない経年変化
- ・ 短い測定時間(5 秒以内に CRT 上にスペクトルの表示)
- ・ オートスケール機能があります。

## 仕 様

名 称	A 領域紫外放射計	B 領域紫外放射計
型 式	CEK-MS212A	CEK-MS212W
波長範囲	315~400nm	280~315nm
出 力	10、0.1mV/W $\cdot$ m <sup>-2</sup>	200.2mV/W $\cdot$ m <sup>-2</sup>
測定範囲	0~100W $\cdot$ m <sup>-2</sup>	0~5W $\cdot$ m <sup>-2</sup>
内部抵抗	500 $\Omega$ 以下	V 出力時約 1500 $\Omega$ 、mV 出力時約 100 $\Omega$
応答速度	1 秒以下(約 90%)	1 秒(約 90%)
温度特性 / 非直線性	1.5%(-10℃~+40℃の変化に対して) $\pm$ 2%以下	1.5%(-10℃~+40℃の変化に対して) $\pm$ 2%以下
電 源	AC100V $\pm$ 10%、47~440Hz(フリー電源)	AC85~264V、47~440Hz(フリー電源)

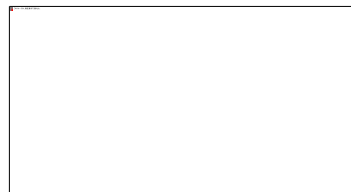
## A 領域紫外放射計 CEK-MS212A



## B 領域紫外放射計 CEK-MS212W



## 紫外分光放射計 CEK-MS701



名 称	紫外分光放射計
型 式	CEK-MS701
波長範囲 / 分解能	0.3 $\mu$ m~0.4 $\mu$ m 3nm
波長精度 / 波長間隔	<0.3nm 0.8nm
迷 光	<0.22%
温度依存性	$\pm$ 1.0%(-20℃~+50℃)
角度特性	7%(天頂角 0℃~80°)
露光時間	10ms~5sec 自動調整
通 信	RS-232C
プログラム	Windows 対応 計測プログラム 表示・解析プログラム
自動計算機能	UV-A、UV-B